

2025年度 入学式を挙

輝かしい未来への第一歩

4月上旬、各設置校において2025年度入学式が行われました。
新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！

2025年
4月7日

大学・大学院

2025年度二松学舎大学・大学院入学式が文京シビックホール・大ホールで挙

行され、来賓、保証人、教職員が見守る中、計850名が新たな学生生活のスタートを切った。

佐藤晋学長は、入学許可宣言に続く式辞で、生成AIなど目覚ましいスピードで進む技術の発展にも負けない力を養うことが大切だとし、大学時代に多くの書籍に触れ、友人たちと議論を交わし、主体的に探究する姿勢が4年後の差につながると、学びの大切さを伝えた。

また、水戸英則理事長は祝辞で、「大学・大学院での学びを通して、変化を恐れず、人間としての価値を深く追求し、他者と協働して社会に貢献できる人材へと成長していくこと、そして、大事なことは大学・大学院在学中、皆さん一人ひとりの未来への道標を自らの手でつかみ取り卒業してほしい」と述べ、新入生に期待を込めた。

新入生たちは、これから始まるキャンパスライフへの大きな期待と少しの不安を胸に、その第一歩を踏み出した。



佐藤晋学長式辞



水戸英則理事長祝辞



鵜飼敦之校長式辞



2025年
4月8日

附属高校

附属高等学校第78回入学式が日本教育会館一ツ橋ホールで挙

行され、259名の新入生が入学した。各学級担任から新入生の名前が呼ばれると、緊張しながらも一人ひとりが元気に返事・起立した。

鵜飼敦之校長は、入学許可宣言後の式辞で、高校生活の3年間で、これからの社会で活躍し、羽ばたくための「翼」を身に付けてほしいとし、大きな「翼」を育むために、①凡事徹底を実践すること(日常の当たり前のことを徹底的に実践する)、②授業や特別活動に一生懸命に取り組むこと(学習・部活動・行事の「三兎を追う」)を挙げ、これらの実践を通じて身に付けた「翼」でしっかりとした将来の目標を見つけてほしいと高校生活への期待を語った。

二松学舎大学長をはじめ父母の会会長、松友会会長、保護者、教職員が見守る中、新入生たちは期待に胸を膨らませ高校生活のスタートを切った。

式典後には、学級担任の紹介があり、学年主任から入学のお祝いとエールが送られた。

2025年
4月7日

附属柏中学校・高校

附属柏中学校第15回、附属柏高等学校第57回入学式が体育館で行われた。中学校106名、高校266名の新入生全員の名前が呼ばれ、来賓、保護者、教職員に見守られながら、計372名が入学した。

七五三和男校長は、入学許可宣言後の式辞で、中学・高校時代は人生の大切な基礎が作り上げられる時期とした上で、①学習に積極的であること、②生活習慣を確立し、規律を守ること、③目標を明確にすること、④国際社会に貢献する人間としての素養を身に付けること、⑤お互いを高めあう、真の友人を作ることの5つを挙げ、これらを通して、それぞれが将来の自己実現に向けての基礎固めをしっかりと行ってほしいと述べた。そして二松学舎の発展に尽力した渋沢栄一の言葉「夢七訓」を紹介し、夢を持つことの大切さを伝えた。

式典後、生徒たちは各クラスでホームルームを行い、少しの緊張と新たな生活への期待を胸に

抱きながら、これからの学校生活への第一歩を踏み出した。



七五三和男校長式辞



誓いの言葉を述べる
中学校代表・大塚莉純さん

学校法人二松学舎協賛

大阪・関西万博「いのちの未来」で漱石アンドロイドを展示

開催期間：4月13日～10月13日

2025年4月13日、大阪市夢洲で「大阪・関西万博」が開幕。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、国内外の英知が集結し、多彩な展示が行われている。中でも注目を集めているのが、8人の著名なプロデューサーが手掛ける「シグネチャーパビリオン」。

学校法人二松学舎は、その一つである石黒浩テーマ事業プロデューサー(大阪大学教授、ATR石黒浩特別研究所客員所長)が手がけるパビリオン「いのちの未来」に、サブ

ライヤーとして協賛。本学が所有する「漱石アンドロイド」が展示されている。漱石アンドロイドは、漢学塾二松学舎の卒業生である文豪・夏目漱石をモデルとしたアンドロイドで、アンドロイド研究の第一人者である石黒教授監修のもと、本学が創立140周年記念事業の一環として制作。学内外のさまざまなイベントで講演などを行うほか、文理融合型の研究を推進してきた。大阪・関西万博では、世界中の人に現代にのみがえった夏目漱石をご覧いただきたい。



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO 2025

©Expo 2025



いのちの未来特設サイト▲



展示中の漱石アンドロイド



©FUTURE OF LIFE/EXPO2025

新入生の新生活がスタート

4月に各設置校で行われた新入生を迎えるさまざまな行事や、入学式で宣誓の言葉を述べた学生・生徒の「入学後にがんばりたいこと」をご紹介します！



大学 新入生歓迎式典

◀クラブ・サークルが一堂に会して新入生に活動をPR



附属高校 オリエンテーション



文学部
国文学科
1年次生
あべ れい
安部 伶さん

将来は国語科の教員を目指しています。大学では文学を専門的に学び、文学の魅力を多くの生徒に伝えることができる先生になりたいです。

学業面では英語や情報などをがんばります。また、バドミントン部に入部したので、学業と部活を両立したいと思います。

▲二松学舎の歴史や高校生活の「いろは」を学ぶ



きたむら ゆきと
1年F組 北村 幸登さん

附属柏高校
オリエンテーション



数々のミッションに挑む
校内謎解きゲーム



1年1組
おおば さくら
大林 さくらさん

自分らしい人生を実現するために、これから始まる3年間を、その先に続くキャリアデザインの財産にしていきたいです。

附属柏中学校
オリエンテーション

「論語かるた」でクラスの仲を深める



英検3級に合格するため、日々の授業を大切に、毎日英単語を覚えます。また、母の負担を減らすべくお弁当作りにも挑戦したいです！



1年C組
おおつか りず
大塚 莉純さん

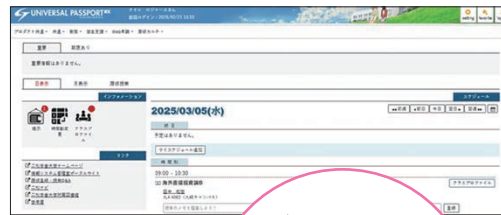
大学の新システムをご紹介します！



NEWS①

新ポータルシステム「NishoUNIPA」

2025年度から学生は履修登録や成績照会、シラバス照会など各種情報の確認をはじめ、課題の提出や授業資料のダウンロードなど「NishoUNIPA」で行います。



- ✓ 履修登録時に進級や卒業に必要な単位が一目で分かる！
- ✓ 学籍情報(住所・連絡先)の変更ができる！



保証人の皆さまの利用については、6月上旬に本学HP「父母会」のページでご案内するニャ！



NEWS②

学生生活アプリ「キャンパスライフ」が登場

これまで冊子で配布していた『CAMPUS LIFE』が2025年度よりアプリ版でリリースされ、より手軽に利用できるようになりました。

大切なお知らせも見逃さない！

各窓口の紹介はここから！

各事務室の連絡先はここから！

「キャンパスライフ」アプリのダウンロード後は、プロフィールの登録で学生は「在学生」、保証人の皆さまは「保護者」と登録してニャ！



学生生活で困ったときはここを見よう！



Q&Aで学生生活の疑問を解決！

九段キャンパスの整備で利便性が向上

学生、教職員の利便性向上を目指しキャンパス整備を行っています。今回は大学1号館6階教室のリニューアルと校地・校舎の取得についてご紹介します。



九段1号館6階を一部リニューアル 主体的な学びを支える環境に

二松学舎大学はこの春、九段1号館6階を一部リニューアルした。利便性を高め、学生の主体的な学びを支援することを目的に、据え置き型のPC教室から、コミュニケーションを重視し、学生が積極的に学びに参加できる教室に生まれ変わった。

新しい教室には、3台のプロジェクターが備えられており、前後の壁面型ホワイトボードをスクリーンとして使用し、資料を投影することができる。大画面投影で見やすいことはもちろん、複数の異なる画面を同時に投影したり、画面を投影しながら壁面をホワイトボードとして使ったりできるようになった。机や椅子が可動式になり、

グループワークにも柔軟に対応。これにより授業では、今まで以上に、より能動的なグループワークやプレゼンテーション演習を効果的に行うことができるようになった。

新たな学習環境を積極的に活用し、学修効果の向上に繋げてもらいたい。



校地・校舎を取得 九段6号館として活用

学校法人二松学舎は、2025年3月26日付で地上7階・地下1階のビル「BCプラザ」(千代田区九段南)・土地を取得した。現在空室の5階につ

いては、大学教員の個人研究室フロアとして2026年4月の運用開始を目指して改修工事を進める予定。今後、大学九段6号館として活用していく。

NISHO Activity Report

学業や課外活動に励む学生・生徒を取り上げるこのコーナー。今回は大学・大学院での研究成果と、課外活動で頑張る学生を紹介します。

大学

ビジネスアイデアコンテストで最優秀賞を受賞

国際政治経済学部国際経営学科の小具龍史教授のゼミ生4名(写真左から植村俊斗さん、石井雄一朗さん、周錦怡さん、三原宏陽さん)が、藤田観光ビジネスアイデアコンテスト2024で最優秀賞を受賞した。全国の大学生・大学院生を対象に広くアイデアが募集され、一次審査を通過した13組が2025年2月の本選に出場。藤田観光の強みを取り入れつつ多角的な方法でビジネスを成功させる提案が評価された。



大学院

日本薬史学会2024年度最優秀発表賞を受賞

文学研究科中国学専攻博士後期課程2年の山形悠さんが、2024年11月の日本薬史学会で、戦前の東アジアにおける漢方史について口頭発表し、最優秀発表賞を受賞した。漢方薬局で薬剤師として勤務したことから薬史学に興味を持ち、大学院では当時の文化的背景や異文化交流といった視点から漢方史を研究している。「より研究を深め、薬史学の認知度向上に貢献したい」と抱負を述べた。



大学

K-1カレッジ2024～大学生日本一決定トーナメント～準優勝

国際政治経済学部国際経営学科4年の夏秋富蔵さんが、2024年9月のK-1アマチュア実行委員会主催「K-1カレッジ2024～大学生日本一決定トーナメント～」55kg級に出場し準優勝に輝いた。この大会は、全国の大学生・専門学生の立ち技格闘技ナンバー1を決める大会でプロへの登竜門と言われている。卒業後はプロの道に進む夏秋さん。「今年こそチャンピオンベルトを手にしたい」と語った。



2025年度入学者 入試結果

大学・大学院

2025年度入学試験は、総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜および各種特別入試を実施した。

総合型選抜では、志願者の能力・適性や学修意欲、目的意識等の評価を重視し、文学部では新たにⅢ期(文章読解型)と小論文型を導入するなど、多様な方式で入試を行った。

一般選抜では、3科目受験型のS方式(入試奨学生選抜型)や2科目受験型のA・B・G方式(G方

式は文学部のみ)、後期1科目型のD方式に加え、新たに文学部でE方式(英語外部試験利用型)、国際政治経済学部でC方式(大学入学共通テスト利用 中期)を導入した。

文学部は514名、国際政治経済学部は293名、計807名の入学者を得た。(編入学を除く)

大学院入試は、文学研究科・国際政治経済学研究科・国際日本学研究科において、秋季・春季試験を実施し、計34名の入学者を得た。

附属高校

2025年度入試も、定員250名を7つの入試カテゴリで募集した。

東京都の授業料完全無償化に伴い、A推薦(単願)の志願者数が増加した。

一方で、都立高校の倍率が低下

したことから、本校を併願優遇で受験し、都立高校に合格した受験生が増えたため、本校への戻り率が減少する結果となった。しかし、全体としては、昨年に引き続き定員を上回る259名の入学者を迎えることができた。

附属柏高校

スーパー特進コースと特進コースのB推薦(併願)の加点ポイントを廃止した結果、B推薦の志願者数が584名となり、全体の志願者数(内部進学を含む)は880名となった。また、特進コースのA推薦(単願)

の志願者が昨年より増加し、本校を第一志望とする生徒が多くなった。スーパー特進コースのB推薦は入学手続き者が多く、予定より1クラス多い3クラスとなった。一般入試からの入学者は7名となり、内部進学者を含む入学者は266名となった。

附属柏中学校

志願者数は昨年度に引き続き増加し、昨年度比110%の708名となった。第一志望入試は作文、算数、英語から2科目を選択し、全員に自己アピールと面接を行う入試で、志願者54名、合格者

43名となった。コース別志願者は全体でグローバル探究280名、総合探究358名であり、入学者はグローバル探究36名、総合探究70名で、開校以来もっとも多い106名の入学者を迎えることができた。

大学【文学部】

試験種別		志願者	合格者
学校推薦型選抜		143	143
総合型選抜	中国文学科総合型(書道実技型 前期/小論文型)	14	11
	I期(文章読解型)	190	127
	II期(自己推薦型)	71	46
	III期(文章読解型) 中国文学科総合型(書道実技型 後期)	24	13
一般選抜	S方式(入試奨学生選抜型)	142	48
	A方式(得意科目型)	417	166
	B方式(前期2科目型)	124	52
	R方式(論述型)	14	7
	G方式(現代文重視型)	161	64
	E方式(英語外部試験利用型)	41	19
	C方式(大学入学共通テスト利用 前期)	339	128
特別入試	C方式(大学入学共通テスト利用 後期)	63	19
	D方式(後期1科目型)	135	29
	社会人	0	0
	外国人留学生	18	15
	海外教育経験者	1	1
合計		1,897	888

大学【国際政治経済学部】

試験種別		志願者	合格者
学校推薦型選抜		106	106
総合型選抜	I期(読解力総合型)	58	57
	I期(英語資格型)	17	16
	II期(自己アピール型)	40	36
	III期(課題解決型)	16	14
一般選抜	S方式(入試奨学生選抜型)	35	21
	A方式(得意科目型)	153	84
	B方式(前期2科目型)	87	39
	E方式(英語外部試験利用型)	75	40
	C方式(大学入学共通テスト利用 前期)	257	102
	C方式(大学入学共通テスト利用 中期)	33	5
	C方式(大学入学共通テスト利用 後期)	44	6
特別入試	D方式(後期1科目型)	103	10
	社会人	0	0
	外国人留学生(冬季・春季)	76	21
	海外教育経験者	2	1
合計		1,103	558

大学院【文学研究科】

課程	専攻	志願者	合格者
博士前期課程	国文学	16	10
	中国学	11	4
博士後期課程	国文学	2	2
	中国学	6	4
合計		35	20

大学院【国際政治経済学研究科】

課程	専攻	志願者	合格者
修士課程	国際政治経済学	20	4

大学院【国際日本学研究科】

課程	専攻	志願者	合格者
修士課程	国際日本学	30	15

附属高等学校

入試区分		志願者	受験者	合格者
推薦入試	A推薦(単願)	167	167	167
	B推薦(併願)	54	40	40
	C推薦(単願)	28	28	8
一般入試	一般I	42	40	11
	併願優遇I	161	149	149
	一般II	65	52	8
	併願優遇II	96	81	81
合計		613	557	464

附属柏高等学校

入試区分		志願者	受験者	合格者
前期I	A推薦	93	92	92
	B推薦	400	397	397
	一般	61	60	11
前期II	B推薦	184	177	177
	一般	61	58	11
後期	一般	5	4	1
合計		804※	788	689

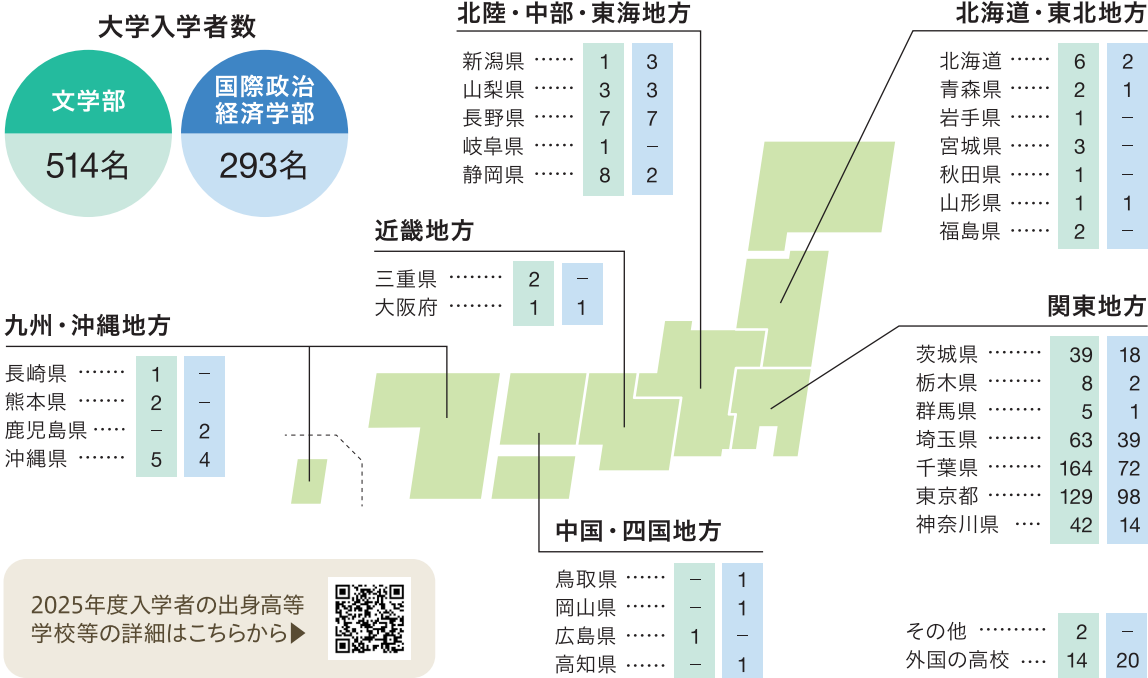
※内部進学者76名を除く

附属柏中学校

入試区分	志願者	受験者	合格者
第一志望入試	54	54	43
総合探究①	193	176	139
グローバル特待①	128	86	56
グローバル特待②	156	78	30
総合探究②	165	43	18
全コース入試	16	16	6
合計	712	453	292

2025年度 大学入学者の出身高等学校等所在地マップ

二松学舎大学への2025年度入学者数がまとまった。ここでは都道府県別で入学者数を紹介する。国内の高校からは、関東を中心に全国29都道府県から集まった。



OPEN CAMPUS 2025

二松学舎
公式キャラクター
ねこ松®

2025年度は下記日程でオープンキャンパスを開催予定です。ぜひ、お越しください！

6.22
sun

7.20
sun

8.3
sun

8.24
sun

11.3
mon

2026
3.20
fri

※日程は変更になる場合があります。

創縁祭同日開催

詳細は受験生サイトをご確認ください! ▶▶▶

入試課

☎03-3261-7423
(月～金 9:00～16:30)

2025(令和7)年 5月20日 vol.96

3

二松学舎教育研究振興資金の2024年度入金額と資金の使途について

学校法人二松学舎では2007年12月から「二松学舎教育研究振興資金」の募金活動を開始し、皆さまのご協力により、2024年度では147,590千円（右表（B）欄）のご寄付をいただきました。本学の教育研究活動、教育環境整備および学生支援に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

ご寄付いただきました寄付金は、学内で検討した結果、2023年度からの繰越金92,585千円（右表（A）欄）と合わせて、資金の使途を次のように決定しましたので、お知らせいたします。（残額は全て2025年度へ繰り越します。）

今後ともご協力のほど、何とぞよろしくお願い申し上げます。

寄付金の主な使途（用途別）

- 1 大学の教育環境整備＝全額2025年度へ繰り越し
- 2 附属高校の教育環境整備＝全額2025年度へ繰り越し
- 3 附属柏高校の教育環境整備＝全額2025年度へ繰り越し
- 4 附属柏中学校の教育環境整備＝全額2025年度へ繰り越し
- 5 学生・生徒の奨学金の基金＝学校法人二松学舎奨学基金（第3号基本金）への組み入れ
- 6 被災学生・経済的困窮学生への支援＝経済的困窮学生への奨学金として支出
- 7 用途を指定しない＝学校法人二松学舎奨学基金（第3号基本金）への組み入れ、奨学金として支出、附属高校野球部第97回選抜高等学校野球大会出場支援費用として支出、残額は2025年度へ繰り越し

内訳表

（単位：千円）

用途	2023年度からの繰越(A)	2024年度の寄付金(B)	合計(A)+(B)	2024年度取崩額(C)	2025年度への繰越(A)+(B)-(C)
大学の教育環境整備	4,210	985	5,195	0	5,195
附属高校の教育環境整備	21,034	11,341	32,375	0	32,375
附属柏高校の教育環境整備	1,635	595	2,230	0	2,230
附属柏中学校の教育環境整備	1,976	1,510	3,486	0	3,486
奨学金の基金	0	81,363	81,363	81,363	0
被災学生・経済的困窮学生支援	115	30,010	30,125	120	30,005
用途指定なし	66,726	22,035	88,761	26,148	62,613
小計	95,696	147,840	243,535	107,631	135,904
振替手数料等	△ 3,111	△ 250	△ 3,361	－	△ 3,361
合計	92,585	147,590	240,175	107,631	132,543

（注）金額は千円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合があります。

附属高校
野球部

2年ぶり8度目のセンバツ出場 ～オール二松学舎で臨むセンバツ～

附属高等学校野球部は、2025年3月18～30日に行われた第97回選抜高等学校野球大会（センバツ）に出場した。センバツへの出場は2年ぶり8回目となる。

初戦は開幕初日の第一試合で、柳ヶ浦高等学校（大分県）と対戦。3対2で初戦を勝利で飾った。センバツでの勝利は、市原勝人監督が選手として出場し準優勝した1982年以来43年ぶりとなり、幸先の良いスタートとなった。続く2戦目は大会6日目23日の第二試合で花巻東高等学校（岩手県）と対戦。4点を追う7回に永尾愛蓮選手^{ながお あれん}の今大会初となる柵越えホームランで1点差に詰め寄るも、6対3で敗退。ベスト8進出はかなわなかった。



開会式で入場する選手

今大会も応援三部（吹奏楽部・チアリーダー部・応援同好会）をはじめ生徒、保護者、卒業生、本学関係者が応援に駆け付け「オール二松学舎」で選手たちに声援を送った。

ご声援・ご支援をありがとうございました。

学校法人二松学舎 R&I社の格付け「A-（安定的）」を維持

学校法人二松学舎は、2025年3月28日付で株式会社格付投資情報センター（R&I）から、発行体格付け「A-（安定的）」の格付けを取得した。同評価は2006年から20年連続となる。

今回は安定的な学生・生徒数の確保、柏高校の進学実績向上等を背景とした良好な財務状況、新たな長期ビジョン「N'2030Plan」の着実な実施状況について高い評価を得た。

金融リテラシーを学ぶ

附属高校

附属高等学校では毎年年度末の学年集会で、生徒たちが身近な社会の問題などを考える時間を設けている。2025年2月19日には、卒業を控えた3年生を対象とした金融特別講座を開催。成人年齢が18歳に引き下げられたことをきっかけに、新成人として社会に出るうえで必要な金融知識を身に付けることを目的に実施した。

本学と金融教育における包括連携協定を締結している株式会社みずほ銀行の植松史氏（四谷法人第二部／四谷・麹町・市ヶ谷支店 ビジネスソリューション部 医療・特定法人チーム）を講師に迎え、近年社会問題化している闇バイトやフィッシングサイトなど、私たちの身近に潜む金融犯罪について、被害防止の方法や対策を学んだ。



新社会人として必要な金融知識を説明する講師の植松史氏

「二松学舎教育研究振興資金」(寄付)のお願い

学校法人二松学舎では、「二松学舎教育研究振興資金」の寄付金募集を行っております。寄付金は使途を指定することができ、さらに、税制上の優遇措置が受けられます。（確定申告のお手続きが必要です）

お申し込み方法の詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。ホームページからクレジットカード・ネットバンキングなどで直接申し込みが可能です。スマートフォンでも簡単にアクセスできます。または、専用振込用紙でのお振り込みも可能です。ご希望の方は、下記までご連絡ください。

何とぞ、募金活動の趣旨をご理解いただき、格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、遺贈によるご寄付も受け付けております。詳細は下記までお問い合わせください。

スマートフォン
でのご寄付は
こちらから▶



お知らせ

学校法人二松学舎への多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。ご寄付賜りました個人および企業・団体・法人のご芳名を、学校法人二松学舎のホームページ「寄付者芳名録」に掲載しておりますのでご確認ください。なお、お名前の掲載を辞退されたい場合は、お手数ですが下記までご連絡ください。

企画・財務課

☎ 03-3261-1298（月～金 9:00～16:30）
✉ k-zaimu@nishogakusha-u.ac.jp

二松学舎名誉役員 称号授与

学校法人二松学舎名誉役員（以下、名誉役員）の称号は、理事または監事を2期（8年）以上経験した者で、特別な功労があった者に贈られる。4月1日付で以下の者に名誉役員の称号を授与した。（敬称略）

小町 邦明

二松学舎舎友 称号授与

学校法人二松学舎舎友（以下、舎友）の称号は、法人役員として1期以上在職した者、法人評議員として2期以上在職した者、教職員として20年以上勤務した者、大学・高等学校の役職者として通算5年以上在職し、10年以上勤務した者などに贈られる。以下の者は、大学の課長職以上の職に5年以上の経験があり、20年以上の勤務により、4月1日付で舎友の称号を授与した。（敬称略）

坂巻 茂紀

古典芸能の普及に貢献

卒業生・二世大藏吉次郎氏を偲ぶ



日本の古典芸能の普及に貢献した重要無形文化財・能楽師狂言方 二世 大藏吉次郎（本名：基義）氏が、2025年2月15日に逝去された。大藏吉次郎氏は、1972年に本学文学部国文学科を卒業。本学においては文学部特別任用教授としてゼミナールや講義・演習を担当した。また、今年で創部58年を迎える狂言研究会の師範として課外活動の指導にあたるなど、教育研究に多大な貢献をした。

3/17
大学・大学院

学位記授与式
会 場：文京シビックホール
大ホール
卒業生：639名
修了者：40名

4月からはそれぞれが選んだ道を歩き始めますが、この4年間で培った「伝える力」と、それぞれが専門分野で得た学びを活かして、さまざまな形で社会に貢献するべく、これからも励んでいきたいと思います。

卒業生代表 宇佐美果穂さん

3/3
附属柏高校

第54回卒業証書授与式
会 場：体育館
卒業生：363名

これから先、どんな困難の中にあっても、大切な人と出会い、共に泣き、共に笑い合える奇跡を尊び、当たり前にある日常を大切に、これからの日々を力強く生きていきたいと、私は思います。

卒業生代表 篠田 佑人さん

二松から未来へはばたけ
2024年度卒業式

二松学舎を卒業した皆さん。おめでとうございます！
3月に各設置校で行われた卒業式の様子と、
卒業生代表の言葉をお届けします。

3/1
附属高校

第75回卒業証書授与式
会 場：日本教育会館
一ツ橋ホール
卒業生：220名

これから私たちは、それぞれの進路に向かって一步一步自分の足で歩いていきます。今後、大きな壁にぶつかったとしても、この二松学舎大学附属高校で得た多くの思い出、学び、誇りを人生の糧とし、力強く生きていきます。

卒業生代表 坂口 祐輝さん

3/19
附属柏中学校

第12回卒業証書授与式
会 場：体育館
卒業生：82名

これまでの日々を振り返れば、学業や部活動、探究活動など、この学校でしかできなかったことを、かけがえのない仲間とともに経験できました。この色濃く鮮やかだった3年間は、有意義で贅沢な時間でした。

卒業生代表 中村 広佑さん



2024年度卒業生の進路報告

大学

キャリアセンター、教職課程センターでは、就職に限らず、学生が卒業後に納得のいく進路選択ができるよう、国家資格を持ったキャリアカウンセラーや専任教員が常駐し、キャリア相談や各種対策講座を実施するなどさまざまなサポートを行っている。

本学の2024年度の傾向は、文学部は教職、国際政治経済学部は金融業界を目指す学生が多く見られた。社会全体のニーズから、IT・情報通信業界の求人も多く、両学部ともSEとして内定を勝ち取った学生も多かった。また、昨年に比べ公務員就職者数も増加した。

どの業界でも人物重視の採用が行われており、今後も、キャリア相談などを通して、希望進路の実現に向けたサポートを行っていく。

大学
2024年度卒業生の主な進路

就職率	93.8%
文学部	94.1%
国際政治経済学部	92.6%
教員就職者数	65名
公務員就職者数	34名

※5月1日現在

※就職率=就職者数÷就職希望者数

附属高校

附属高等学校では、生徒の適性と希望進路に合わせたきめ細かいサポートを行っている。3年には探究の授業の一環として生徒全員に「志望理由書」を作成させ、担任との面談を通して希望進路の実現に向けた指導を行った。

2025年度は新課程入試1年目の年となったが、

附属高等学校
2024年度卒業生の主な合格実績

私立大学	366名
学習院 明治 青山学院 立教 中央 法政 成蹊 明治学院 獨協 國學院 武蔵 芝浦工業 日本 東洋 駒澤 専修 他多数	
併設大学	30名
二松学舎	
海外進学	1名
短大・専門学校	17名

特進・理系コースの生徒はもちろんのこと、進学コースからも一般選抜方式に挑戦する生徒が多数おり、数多くの合格報告が届いた。その結果、大学への進学割合は近年では最多の88.2%となり、GMARCHをはじめさまざまな大学へと進学した。

附属柏高校

附属柏高等学校では、大学合格を目指した「進路指導」ではなく、生徒が自ら希望進路を実現するための「進路支援」を行っている。その一つとして、生徒は2年の3学期に「第一志望宣言書」を提出し、自分の目標に向かって早期から計画的に取り組んでいる。

2025年度は新課程入試を不安がる生徒もいたが、多くの生徒が宣言書通り、第一志望校合格に向けて努力を重ねた。こうした取り組みにより、国公立、早慶上理、GMARCHなどへの合格者数が2019年度の25名から3倍超の88名まで増加した。

附属柏高等学校
2024年度卒業生の主な合格実績

国公立大学・省庁大学校	17名
筑波 東京農工 千葉 国際教養 茨城 会津 秋田 千葉県立保健医療 防衛大学校	
私立大学	679名
上智 東京理科 学習院 明治 青山学院 立教 中央 法政 同志社 成城 成蹊 明治学院 獨協 國學院 武蔵 他多数	
併設大学	22名
二松学舎	
海外進学	3名
短大・専門学校	25名

設置校NEWS

このコーナーでは、大学、附属高等学校、附属柏中学校・高等学校でのさまざまな行事や学生・生徒の皆さんの様子をピックアップしてお届けします！

大学

2025年2月6日

小学校教員養成特別プログラム交流会

2月6日、九段1号館13階ラウンジにて、小学校教員養成特別プログラム交流会を開催し、2年次生6名、3年次生3名、4年次生5名、教職課程センター教職員7名が参加した。

本学では、教職課程を履修する学生が、3・4年次に科目等履修生として玉川大学の通信教育を受講することで、卒業と同時に小学校教諭二種免許状が取得できるプログラムを設けている。

ただ、小学校教諭二種免許状を取得するためには、自身の学部・学科の学びに加え、教職課程、本プログラムの受講を進める必要があり、スケジュール管理が非常に重要となる。



情報交換の場となった交流会

この交流会は、すでに受講を開始している先輩と4月から受講を開始する学生が交流することで、学修を始める前の不安を解消し、スムーズに学修を開始してもらえる機会となるよう、情報交換の場として設けられている。学生同士の交流はもちろん、教職員との交流を深める貴重な機会にもなった。

附属高校

2025年1月26～28日

高1 雪国体験教室

附属高等学校1年生は、1月26～28日の2泊3日で、長野県の志賀高原横手山スキー場にて雪国体験教室を実施した。初めてスキーをする生徒が100名程度、少し経験したことのある生徒が100名程度ということもあり、ほとんどの生徒が初心者レベルでのスタートとなった。初めての経験に不安そうな表情を見せる生徒もいたが、スキースクールのインストラクターによる丁寧な指導、また、雪質のよい穏やかな斜面での練習ということもあり、生徒たちはすぐにスキーに慣れていった。

初日は雪が降り曇っていたが、2日目以降は天気が回復し、きれいな

青空のもと、絶景を楽しみながらのスキー練習となった。最終日にもなると、全員スキーが上達し、生徒を見守る先生たちに手を振って通り過ぎる姿も。この雪国体験教室で、スキーの技術の習得はもちろん、また一つ、学校生活の楽しい思い出ができた。



スキー練習を通して交流を深める

附属柏高校

2025年3月21日

高2 受験報告会に参加



先輩のアドバイスを聞く生徒たち

受験報告会とは、今年3月に附属柏高等学校を卒業したばかりの卒業生に協力してもらい、国・公・私立大学にさまざまな受験形態で合格を勝ち取った先輩方から直接受験体験が聞けるもので、今年は54回生16名の協力のもと3月21日に開催。スーパー特進コースと特進コ

ースの2年生87名が参加し、自分の希望進路にあった先輩3名から受験体験を聞いた。

生徒たちは、学習方法や計画の立て方、モチベーションの保ち方など、さまざまな角度から卒業生に質問。卒業生もそれに応えようと、実際に使っていたノートや参考書を見せるなど工夫を凝らしながら丁寧に対応していた。

参加していた生徒からは「とても参考になった」「モチベーションが上がった」といった前向きな感想が多くあがった。これから受験本番を迎える新3年生が、自らの目標に向かって全力で挑戦していくきっかけとなる報告会となった。

附属柏中学校

2025年3月24～26日

中1 ブリティッシュヒルズ研修

附属柏中学校グローバル探究コースの1年生は、3月24～26日の2泊3日で、福島県の語学研修施設「ブリティッシュヒルズ」を訪れ、英語研修を行った。施設内では英語が公用語となるため、研修内容や先生方とのコミュニケーションは基本的にすべて英語。1日目から本格的な英語研修が始まり、生徒た

ちは積極的に英語に触れた。

2日目以降はカリグラフィー（西洋書道）に挑戦したり、サイエンス・チャレンジといった実験や映画の登場人物のセリフから英語表現を学んだりするなど楽しみながら英語を学んだ。また、テーブルマナーの研修では、実際にコース料理を体験するなど食文化にも触れた。

最終日には修了証が手渡され、研修を担当したネイティブの先生からは、「これからも英語を学び続けてほしい」というメッセージが送られた。これらの経験を通して、生徒たちの英語学習のモチベーション向上につなげることができた。



テーブルマナーを英語で学ぶ

人事

定年退職 2025年3月31日付

大学職員 坂巻 茂紀 参事（定年扱い）

役職任命 2025年4月1日付

大学・大学院

文学研究科長 山口 直孝 教授（再）
国際日本学研究科長 堀野 正人 特別招聘教授（再）
文学部長 五月女 肇志 教授

附属高等学校

校長 鵜飼 敦之 教諭（再）
教頭 秋葉 一之 教諭（再）

新任教員 2025年4月1日付

大学教員

文学部

小澤 京子 教授（都市文化デザイン学科）
専門：表象文化論、イメージ分析、視覚・映像文化論
大庭 裕介 講師（歴史文化学科）
専門：明治維新史、日本近代史、法史学
越智健太郎 講師（国文学科）
専門：英語、英語教授法、英語教育、第二言語習得

国際政治経済学部

森倉 悠介 准教授（国際政治経済学科）
専門：数値解析（数値線形代数、高精度計算）、
High Performance Computing

教職課程センター

高松 健雄 特別任用教授
専門：社会科教育法

附属柏高等学校教員

青木 紘庸 教諭（担当科目：英語）
窪山 哲太 教諭（担当科目：社会）

訃報

謹んでお悔やみ申し上げます。

佐藤保氏（顧問）

2025年3月30日逝去。
満90歳。（2002～2000



西尾理弘氏（名誉役員）

2024年11月15日逝去。
満83歳。（1995～2011
年まで学校法人二松学舎評
議員、理事を務めた。201
1年、学校法人二松学舎名
誉役員の称号を授与。